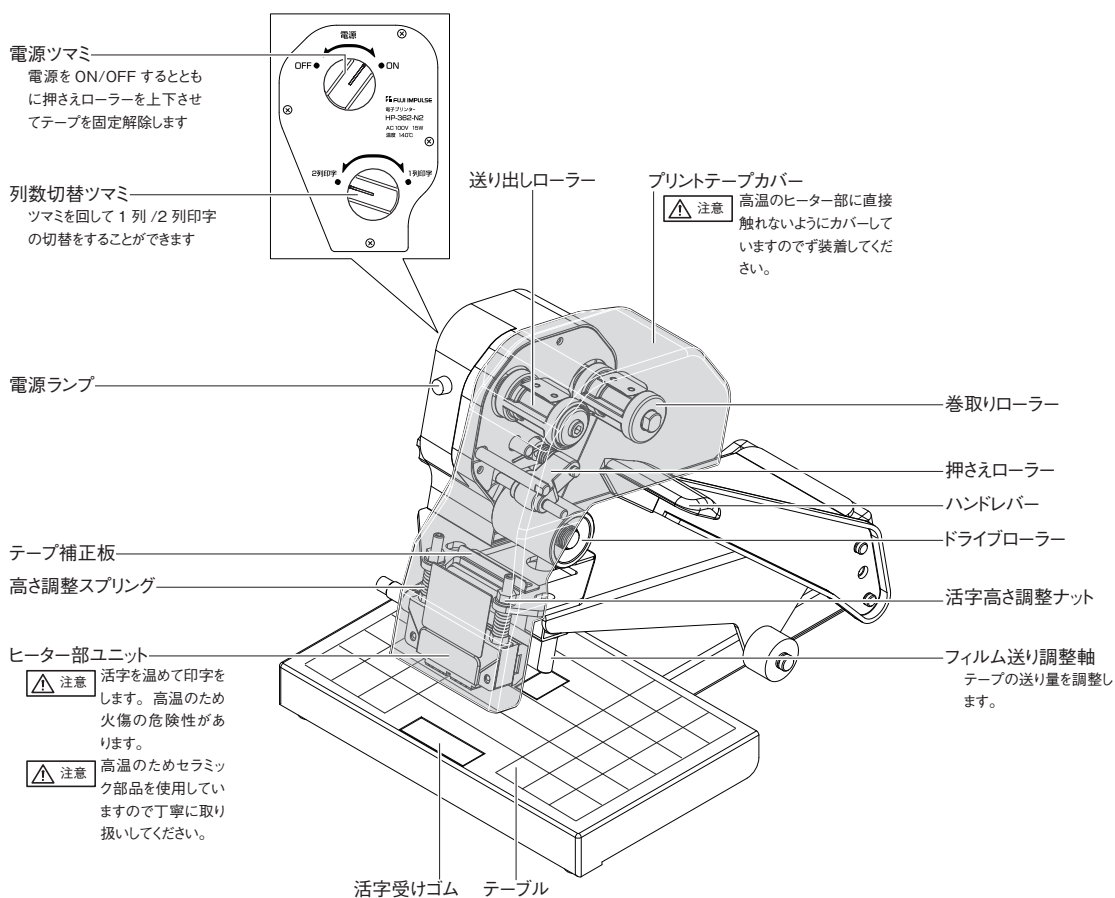
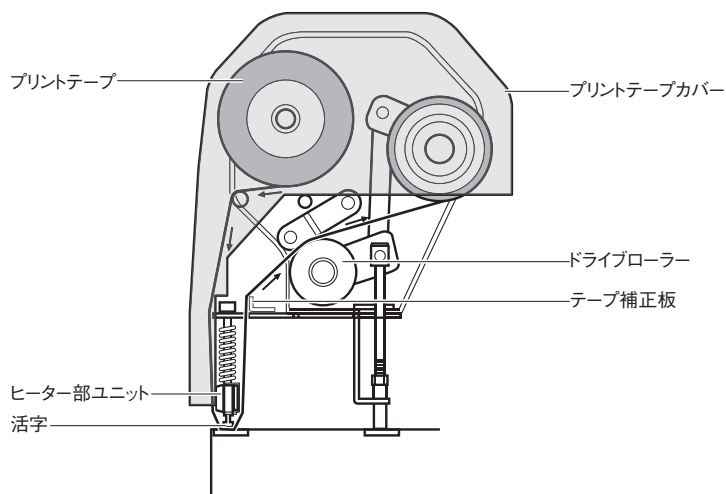


7 各部の名称とはたらき



本体ユニット部構造図



8 正しい使い方

この製品を使用する時は以下の「正しい使い方」をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

8-1 製品の設置

HP-362-N2を水平な面を持つ適切な作業台の上に設置してください。

注意 水平ではない作業台に不安定な状態で設置するとプリンターが落下する危険性があります。

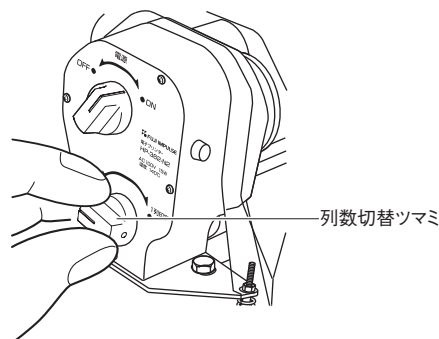


8-2 準備

MEMO 工場出荷時に、プリントテープと活字の一部がプリンター本体にセットしてあります。

MEMO 活字カセットケースの1列分に附属品の36mm スペーサーをセットすることにより1列印字ができます。

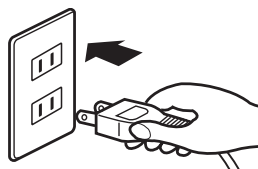
1列印字をされる場合は、列数切替ツマミで列数を1列印字に変更してください。



8-3 電源コードの差し込み

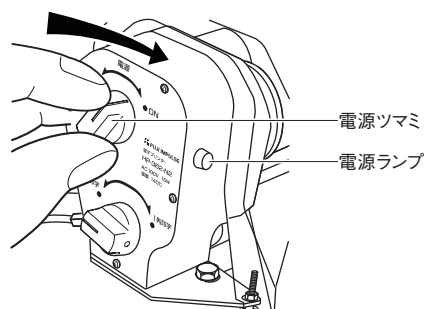
電源コードの差し込みプラグを「1仕様」に記載している電圧・電力がとれるコンセントに確実に根元まで差し込んでください。

警告 規定の容量に合わない場合、火災などの危険性があります。
必ず100～125Vの範囲で使用してください。



8-4 電源ツマミ ON

電源ツマミを右に回してプリンターの電源をONにしますと電源ランプが点灯します。



8-5 適温になるまで待つ

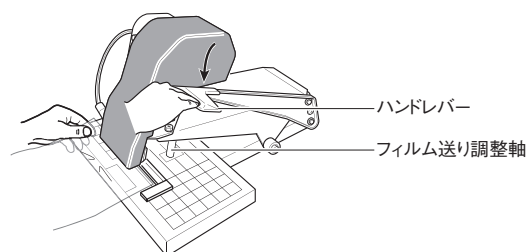
ヒーターが印字可能な状態に温まるまで 10 ～ 15 分お待ちください。

8-6 ハンドレバーを押し下げる

ヒーター部が印字可能な状態に温まれば、ハンドレバーを押し下げて、フィルムに約 0.5 ～ 1 秒押しつけた後レバーを上げると印字ができています。

印字位置は作業テーブルの活字受けゴムのある位置です。

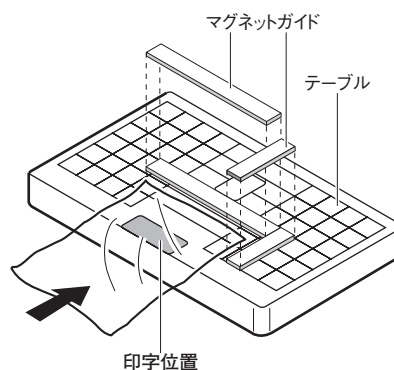
注！ 連続して印字をされる場合、フィルム送り調整軸がテーブルから離れる位置までハンドレバーを戻してから、次の印字を行うようにしてください。フィルム送り調整軸が上がりきらない状態から、次の印字を行うためにハンドレバーを押し下げますと、テープ送り量が少なくなり、正確な印字ができなくなる場合や故障の原因となります。



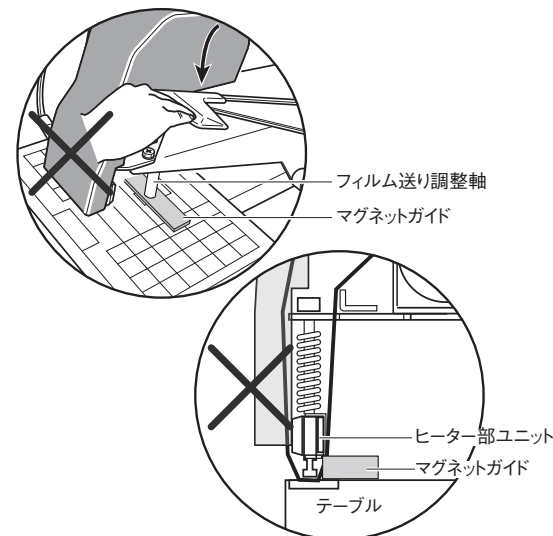
同じ位置に印字したい場合 ……

印字位置を決めたい場合 ……

附属品の印字マグネットガイドを利用してください。マグネットガイドを包材の角に合うようにテーブルにセットします。ガイドに合わせてフィルム（袋）をセットして作業をすれば、同じ位置に印字ができます。

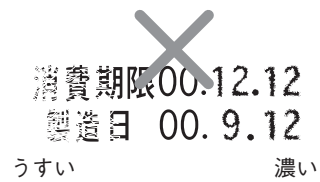


注！ ハンドレバーを押し下げた際に、フィルム送り調整軸とヒーター部ユニットにマグネットガイドが当たらないように設置してください。プリントテープの巻取りに不具合が生じるなど、故障の原因となります。



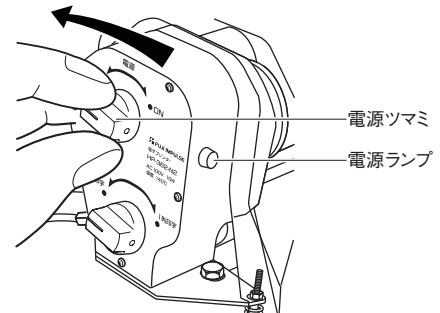
8-7 印字状態の確認

印字がきれいにできていない場合は、「10-1 ヒーター部ユニット (活字) の高さ調整」できれいな印字ができるまで調整を繰り返してください。

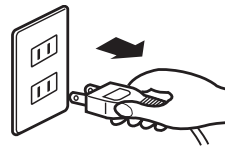


8-8 電源ツマミを OFF にする

作業が終わりましたら電源ツマミを OFF にしてください。



長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いておいてください。



8-9 作業終了後の点検

作業終了後は、清掃を行い活字などの部品が傷んでいないか点検を行い必要に応じて部品を交換してください。

